



INDEX

P1ーゆめっとフェスタ2006
実行委員長挨拶

P1・2・3ーゆめっとフェスタ2006
開催報告

P4ーゆめ企画コンテスト
募集要項



ゆめっとフェスタ2006
永井崇博実行委員長

京都青少年ゆめネットワーク設立10周年記念 イベント

「ゆめっとフェスタ2006」を終えて

実行委員長 永井 崇博

平成18年春、西岡統括より10周年記念イベントの実行委員長を受けてもらえないかと依頼を受け悩んだ末、ここ数年ゆめっと顧問として在籍はしておりますが、役員会にもなかなか出席できずゆめっとの現状も十分わからないままでしたが、お引き受けすることにしました。5月の定例総会で開催の承認を受け、早速実行委員会を立ち上げましたが、遅々として進まず、加えて私の判断の誤りからゆめ企画の担当スタッフには申し訳ない事になったと反省しております。

しかしながら、時は刻々と進み、パフォーマンスチーム、うた作りチームそれぞれに企画、渉外等順調にこなしていただき、夏以降いよいよエンジンがかかって順調に進み始めました。10月7、8日と友愛の丘での合宿は、とても充実した合宿となり更にフェスタ成功へのスタッフ意識が非常に高められたと感じています。

惜まれるのは、季節的に加盟団体独自の事業の関係とは思いますが、加盟団体の参加協力が今ひとつ得られなかった事であります。ゆめっと京都創立10周年記念イベントとして加盟団体を中心となって、このイベントを通じて団体間あるいはその中の個人の繋がりを構築し更にネットワークを強固なものにできれば良かったのではないかと考えています。実行委員会の呼びかけあるいはアプローチのまずさでもあったと、これも反省点の一つです。

当日は、生憎の天候ではありましたが、スタッフ全員のご努力と熱意で世代を超えた参加者を得ました、若い世代の繋がりもできたと思っております。設立10年ですが、スタッフの世代交代を推進し若い力と発想で更にゆめっと京都が、社会に貢献できる団体へと成長していくことを願っております。

最後になりましたが、今回のイベント開催に関しまして多大なるご努力ご協力、さらにはご協賛いただきました皆様様に感謝しつつご報告と致します。

ありがとうございました。

コンセプトは
伝える

ゆめっとフェスタ2006 開催

11月19日(日)新風館(京都市中京区)において「ゆめっとフェスタ2006」が開催されました。

「伝える」をコンセプトに京小町踊り子隊による踊りを皮切りにアニメ・映画で伝えるコンテスト、祭娘によるエイサー、知事と和い、和いミーティング、うたで伝えるライブオンステージと公募で集まった若者による自主企画イベントが行われました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず200名の参加者、延べ1000名の来場者が様々なプログラムに熱心に目を注いでいました。また、会場内のフリースペースでは世界にひとつだけの「想いをこめた缶バッジ」コーナー、想いを伝えるメッセージボードコーナー、アニメ・映画で伝える作品コンテストの入選作品上映コーナー、ゆめっと京都加盟団体のPR映像上映コーナーが設けられました。

